

## 谷川岳（西黒尾根）山行報告

【山行日】2017年7月9日（日）

【集 合】岩舟支所P AM4:00

【費 用】マイカー1台：3,600円

【メンバー】CL：香川、SL：津佐、関、岩渕、  
鶴見、大久保、渡辺ミ

【コースタイム】

岩舟支所 4:00 = 谷川ベースプラザ

P5:45/6:10→西黒尾根登山口 6:30→鉄塔

6:50→ラクダの背 9:00→ザンゲ岩 10:25→

肩の広場 10:45→トマの耳 11:05→オキの耳 11:25→肩の小屋 11:55/12:30→熊穴沢避難小屋

13:45→天神平 14:30+++谷川ベースプラザ 14:55/15:30=岩舟支所 P17:30



土日の2班に分けての谷川岳（西黒尾根）山行…日曜組。

当初は同じ者が両日ともCLを務める予定だったが、非常に気温が高く、身体へのストレスが高いため日曜のCLを代打で行うことになった。

全く同じルートを1ヵ月前に歩いているので下見は問題ない。

この日のメンバーには、初めての谷川岳という者が3名、初めての西黒尾根が1名…全員をケアするのは厳しいと思いつつ、のんびり&水分補給を心に刻みつつスタート。



ベースプラザから西黒尾根登山口までおしゃべりしながらのんびり歩く。

そして、登山口前で準備運動をして、元気な顔で記念撮影。

さて、登山口からはいきなりの急登です。

皆さん楽しく会話を弾ませながら少々足元の悪い樹林帯の急登をのんびり、しっかり歩きます。

鉄塔に着き少し休憩。

その後も延々と樹林帯が続きます。

Iさんが「これを登っていくと、ぼーんって開けるんだよ、それが素晴らしいの。ぼーんって開けるのまだ？」と何度も繰り返します。

景色が見えない、花も少ない、そして蒸し暑い樹林帯は段々とテンションを下げていくようです鉄塔まではコースタイム程度で歩いていましたが、気付くと少し遅れ気配。

そして、やっと視界の広がる尾根へ。

視界の開けた景色は一番の気分転換になりますね。ザックを下ろし、岩に腰かけ、水を飲み、

Sさんが持ってきてくれたキウイフルーツをいただきます。

ここからは青空の下にトマの耳、オキの耳を眺めながら西黒尾根の3つの鎖場へ。

皆さん多少時間はかかれど難なく鎖場を越えて行きます。頼もしい限り。

しかし、明らかに歩むスピードは落ちている。

見ると、Tさんは寝不足と高度障害(?)で少々つらそうな表情です。



気分転換に途中のなんちゃってロッククライミング(?)風の写真が撮れるポイントで休憩をしつつ写真撮影。

気持ちも体力も少し回復できたかな?と思いましたが、そうでもなく。。

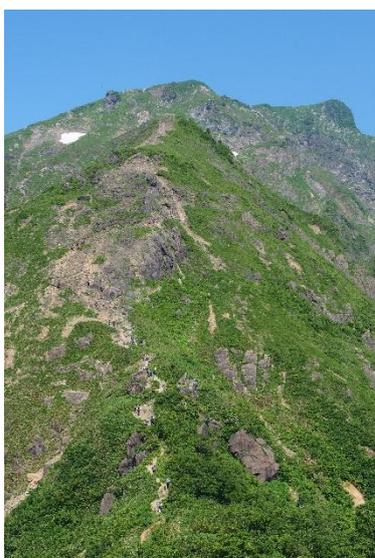
Iさんが持ってきてくれたトマトを食べても、水分を補給しても、やはり、気温の高さが体力を削り取っていくようです。

設定タイムから40分ほど遅れて肩の広場で到着。

あとはトマとオキで行って下るだけですから少々長めの休憩をとって体力回復を目論見ます。

Tさんはここまでかな?と思い、本人に聞くと「眠い以外は大丈夫です」と。

そうですね。ここまで来て山頂を踏まないのはあり得ないですね(笑)。



トマへ向かう途中で振り返ると歩いてきた西黒尾根がよく見えます。

自分の歩いた道を見下ろすのって気持ちいいですね。皆さんにもそれを感じてもらえたようで何より。

しかし…7月1日(土)が谷川岳の開山だったようで、とにかく人、人、人です!

山頂での記念撮影は当然順番待ち。

山頂付近でゆっくりすることもままなりません。

集合写真を撮ったら各自好きに写真を撮ってもらいつつ、急ぎ肩の小屋まで戻ります。

当然、肩の小屋の周りも人、人、人。

しかも、日陰がないのでツライ。

暑さで食欲も落ち気味でしたが、暑さに負けないためにも食べるしかありません。

Tくんは肩の小屋で高級コーラを購入。これだけ暑いとさぞかし美味しいコーラに間違いはない!(笑)

この時期、この時間帯は肩の小屋から天神平へ向けて下山するスタート地点の雪渓部分が一番の核心部かもしれませんね。

登ってくる人あり、下る人あり…で交差が難しい。

ステップを切ってある部分を下りつつ、登りの人が来たら横に避ける。避けたところをそのまま下る方法もありますが非常に滑りやすい。

今回は安全に登りの人が通過したらステップ側に戻る段取りで下りました。

途中、一人の女性がシリセードをされていたが「あー！止まらない！」と下まで滑っていきました。

ケガはしていませんでしたがとてもキケン！良い子は真似しないようにしましょうね。

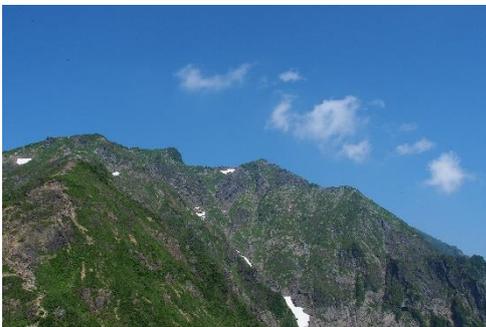


雪渓から先のガレた道に少々手こずりながらも無事下山。

下りもとにかく暑かった。

熊穴沢避難小屋を覗くと暑さでバテて寝転がっている登山者が2名。

この気候の山をなめちやいけません。



ロープウェイで下るときは山頂と私たちが歩いた西黒尾根がよく見えます。

「あそこを歩いたんだあ〜」と皆さん満足そう。ベースプラザに着いたら自分へのご褒美のかき氷やソフトクリームを楽しみました。

帰りはうっかり赤城高原 SA を通り過ぎてしまい、駒寄 PA へ。

「たまには違うところに寄るのもいいんじゃない！」とっていただき恐縮です。

メンバーにとっては夏の剣や槍などの山行へ向けて、そして私にとっては初の月例山行 CL ということで、学び多き山行となったのでは？…と思います。